

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 2022/06/20号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



### 【ゴールドマーケットの現状】

## FRB 0.75%の利上げと円安

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



マーケットの焦点はFOMCでの新たな政策金利がどうなるか？日本時間の木曜日早朝3時に発表されたのは0.75%の金利上げとなりました。これは2009年以来最大の上げ幅。しかし、FOMC直前にはCME Fedwatchではほぼ100%の確立で0.75%の上げという大幅な金利上げを織り込んでいたため、発表直後の動きは神経質であったもののそれほど一方的に大きな動きにはなりません。その後じわじわとゴールドは上昇。週前半の株価、暗号資産、国債、そしてゴールドもすべて売られる現金化の動きからは、この利上げを経て安全資産としての買いがふたたびゴールド、そして長期国債に入ってきました。株式市場の下げは続いている中、今後は資産選択による動きが顕在化しそうです。円建てゴールドの動きはドル建てよりも激しくなりました。ドル円は大きく乱高下。木曜日には一時132円割れまで買い戻された円は、金曜日の日銀の大規模緩和の発表で、大きく再び売られて一週間の引けは135円にまで下落。円建てのゴールドはまた8000円近くまで上げて終わりました。米国のみならず、スイス、英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、スウェーデン、の各国が4月下旬から現在に至るまで0.25%から0.75%まで利上げを行っています。その中でたった一国だけ金融緩和を続けるということは当然円売りの材料になります。今や日本円の下落は世界からも注目を浴びており、先週のBaronsのカバータイトルは“The yen’s weakness is another sign that something isn’t right in the global economy.”と書かれるまでに至っています。円の購買力低下は資産のほとんどを円で持つ我々日本人にとっては無視することのできないリスクです。このリスクのヘッジとしては円建てのゴールドのポジションを持つのがインフレヘッジともなり最良の手段です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

## ゴールド以外の貴金属-PGM1

「PGMとは」

ゴールドとシルバーに続いて今回からはPGMに関して書きます。「貴金属」という括りはゴールド、シルバーそしてこのPGMから成り立ちます。PGMとはPlatinum Group Metalsのアクロニム（頭字語）で、日本語では「白金族」と呼ばれる文字通りプラチナの仲間のメタルのことです。PGMには、プラチナ、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、イリジウム、オスミウムの6種類のメタルがあります。これにゴールドとシルバーを加えると貴金属は8種類あることとなります。この中で先物取引所に上場されているのは、ゴールド、シルバー、プラチナとパラジウムのみで、それ以外の4メタルは基本的に生産者（鉱山会社）と需要家（自動車会社をはじめとする工業需要家がメイン）とのマーケットを通さない直接取引がその基本となっています。そのためここでは主にプラチナとパラジウムに関して書きたいと思います。

「プラチナ・パラジウムの歴史」

プラチナが人類の歴史に登場するのはゴールドやシルバーと比べると比較的最近になります。紀元前1200年代の古代エジプトでファラオの装身具から発見されたりしますが、ゴールドと比べると圧倒的に少なく、その存在は知られていたようですが、おそらく融点が高いため精錬加工が困難であり、ゴールドほどは全く人類との本格的な付き合いは18世紀半ば以降にスペイン人がコロンビアで発見した金属をプラチナと呼んだことまで待たなければなりません。パラジウムはより新しく1803年にイギリスの化学者がロジウムと一緒に発見した元素です。

ゴールドが人間の有史以来5000年もの付き合いがあるとすれば、PGMと人間との本格的な歴史はわずか250年程度です。投資需要がゴールドとくらべて圧倒的に少ないのは、この人間との歴史の浅さがその理由の一つでもあるのでしょうか。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

